

資料

日本大学出身経営者アンケート【調査票】

日本大学経済学部・産業経営研究所
研究プロジェクト

調査へのご協力をお願い

この調査は、**日本大学出身の経営者を対象**に、経営者に必要な資質・能力を身につけるために日本大学が果たし得る役割を明らかにすることを目的として実施するものです。
ぜひご協力のほどお願い申し上げます。

問1 貴社の概要について、各項目に当てはまるもの一つに○をするか数値を記入してください。

a 業種

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| ①建設業 | ②製造業 | ③電気・ガス・水道業 |
| ④情報通信業 | ⑤運輸・郵便業 | ⑥卸売・小売業 |
| ⑦金融・保険業 | ⑧不動産・物品賃貸業 | ⑨専門・技術サービス業 |
| ⑩宿泊・飲食サービス業 | ⑪生活関連サービス・娯楽業 | ⑫教育・学習支援業 |
| ⑬医療・福祉 | ⑭複合サービス業 | ⑮その他 () |

b 従業員数（常用パートを含む）

(2019年4月1日現在) _____人

c 売上高（2018年度）

_____百万円

d 創業年

明治・大正・昭和・平成 西暦 _____年

e 所在地

_____都道府県

問2 経営者となった（起業または事業を継承した）年齢について、当てはまるもの一つに○をしてください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ①20歳未満 | ②20～24歳 | ③25～29歳 | ④30～34歳 |
| ⑤35～39歳 | ⑥40～44歳 | ⑦45～49歳 | ⑧50～54歳 |
| ⑨55～59歳 | ⑩60歳以上 | | |

問3 創業者とご関係について、当てはまるもの一つに○をしてください。

- ①自分自身が創業者
- ②創業者の親族
- ③創業者とは親族関係になく、社員として勤務し、内部昇進により経営者に登用された
- ④創業者とは親族関係になく、経営者として社外から招聘された
- ⑤その他 ()

問4 現在の企業で経営者になる前の職業経験について、当てはまるものすべてに○をし、経験年数（複数の場合は通算）または起業回数を記入してください。

- ①他社（同業種）に勤務した（公務を含む） 勤務年数 約（ ）年
 ②他社（異業種）に勤務した（公務を含む） 勤務年数 約（ ）年
 ③起業した（同業種） 起業回数 （ ）回
 ④起業した（異業種） 起業回数 （ ）回
 ⑤その他（ ）

問5 自社を経営する上で以下の資質・能力は重要だと思いますか、重要ではないと思いますか。それぞれ当てはまるもの一つに○をしてください。

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
a. 経営戦略を策定する能力	①	②	③	④
b. ビジネスモデルを構築する能力	①	②	③	④
c. 製品・サービスを開発する能力	①	②	③	④
d. 製品・サービスを顧客に売り込む営業力	①	②	③	④
e. 組織をまとめる統率力・リーダーシップ	①	②	③	④
f. 新しいことに挑戦する積極性・チャレンジ精神	①	②	③	④
g. 景気動向や経済政策など経済全般に関する知識	①	②	③	④
h. 財務状況を把握する能力	①	②	③	④
i. 資金を調達する能力	①	②	③	④
j. その他に重要だと思う能力（ ）				

問6 あなたは以下の資質・能力についてどのように自己評価されていますか。それぞれ当てはまるもの一つに○をしてください。

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い
a. 経営戦略を策定する能力	①	②	③	④	⑤
b. ビジネスモデルを構築する能力	①	②	③	④	⑤
c. 製品・サービスを開発する能力	①	②	③	④	⑤
d. 製品・サービスを顧客に売り込む営業力	①	②	③	④	⑤
e. 組織をまとめる統率力・リーダーシップ	①	②	③	④	⑤
f. 新しいことに挑戦する積極性・チャレンジ精神	①	②	③	④	⑤
g. 景気動向や経済政策など経済全般に関する知識	①	②	③	④	⑤
h. 財務状況を把握する能力	①	②	③	④	⑤
i. 資金を調達する能力	①	②	③	④	⑤
j. その他にご自分が優れていると思う能力（ ）					

問7 企業を経営する目的について、当てはまるものすべてに○をしてください。

- ①高い所得を得たい
- ②社会貢献をしたい
- ③自分の裁量で仕事をしたい
- ④性別や年齢に関係なく働きたい
- ⑤自分の知識・技術・アイデアを生かしたい
- ⑥仕事の経験や資格を生かしたい
- ⑦その他 ()

問8 貴社の経営状況（過去5年間の傾向）について、それぞれ当てはまるもの一つに○をしてください。

a 売上げ

- ①拡大傾向
- ②横ばい
- ③縮小傾向

b 収益（経常利益）

- ①黒字基調
- ②収支均衡
- ③赤字基調

問9 貴社の展望（3～5年後の見通し）について、それぞれ当てはまるもの一つに○をしてください。

a 業界の市場規模

- ①拡大する
- ②横ばい
- ③縮小する
- ④わからない

b 自社の事業規模

- ①拡大する
- ②現状維持
- ③縮小する
- ④わからない

c 自社の収益性

- ①改善する
- ②現状維持
- ③悪化する
- ④わからない

問10 貴社の強みはどのような点にあると思いますか。当てはまるものすべてに○をしてください。

- ①商品・サービスの価格が安い
- ②商品・サービスの品質が高い
- ③技術力が高い
- ④ブランド力がある
- ⑤営業力がある
- ⑥関連会社との提携関係が良好
- ⑦他社との提携関係が良好
- ⑧従業員の能力が高い
- ⑨財務基盤がしっかりしている
- ⑩海外市場を持っている
- ⑪その他 ()
- ⑫特になし

問 11 貴社が直面している経営上の課題について、それぞれ当てはまるもの一つに○をしてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
a. 商品・サービスの品質の不足	①	②	③	④
b. 技術力の不足	①	②	③	④
c. 資金の不足	①	②	③	④
d. 人材の不足	①	②	③	④
e. 経済・産業に関する情報の不足	①	②	③	④
f. 消費者ニーズに関する情報の不足	①	②	③	④
g. 他社との価格競争	①	②	③	④
h. 許認可等に係る規制・制度	①	②	③	④
i. その他 ()				

問 12 あなたが自社の経営に関して相談する社外の相手について、当てはまるものすべてに○をしてください。

- ①金融機関 ②公認会計士 ③税理士
 ④中小企業診断士 ⑤弁護士 ⑥その他の専門家・コンサルタント
 ⑦取引先企業・同業者仲間 ⑧商工会議所・商工会等 ⑨大学・研究機関等
 ⑩公的相談窓口 ⑪その他 ()
 ⑫社外に相談先はない

問 13 あなたが自社を経営するのにあたり大学に期待する役割について、それぞれ当てはまるもの一つに○をしてください。

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない
a. 経営戦略・事業計画策定に関する相談	①	②	③	④
b. 製品・サービスに関する産学共同研究	①	②	③	④
c. 市場調査・マーケティングに関する共同研究	①	②	③	④
d. 税務・法務に関する相談	①	②	③	④
e. 後継者育成プログラムの提供	①	②	③	④
f. 日本大学出身の経営者のネットワークづくり	①	②	③	④
g. 在学生との交流の場の提供	①	②	③	④
h. その他 ()				

問 14 その他、日本大学に対するご要望などについて、ご自由にお書きください。

--

問 15 あなたご自身についてお聞きします。

a 性別	①男性	②女性
b 年齢	(2019年4月1日現在)	_____歳
c 出身学部 (現在の名称)	①法学部 ③経済学部 ⑤芸術学部 ⑦理工学部 ⑨工学部 ⑪歯学部 ⑬生物資源科学部 ⑮その他 (②文理学部 ④商学部 ⑥国際関係学部 ⑧生産工学部 ⑩医学部 ⑫松戸歯学部 ⑭薬学部)
出身大学院	() 研究科 ①博士課程前期 (修士課程) ②博士課程後期 (博士課程)

調査報告書送付のご希望について

①報告書の送付を希望する

②報告書の送付を希望しない

└─▶ 調査報告書の送付をご希望する場合は、送付先住所・氏名をご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました

東京商工リサーチ・企業データベースにおける出身大学別分布状況

産業

	農業・林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業
日本大学	97 0.5%	20 0.1%	31 0.2%	3305 17.5%	3708 19.7%	32 0.2%	669 3.6%	623 3.3%	4979 26.4%	130 0.7%	1590 8.4%
K大学	44 0.4%	2 0.0%	14 0.1%	433 4.2%	2033 19.6%	40 0.4%	711 6.9%	377 3.6%	3146 30.4%	278 2.7%	1256 12.1%
合計	141 0.5%	22 0.1%	45 0.2%	3738 12.8%	5741 19.7%	72 0.2%	1380 4.7%	1000 3.4%	8125 27.8%	408 1.4%	2846 9.7%
日本大学	1423	385	451	31	860	508	18842				
	7.6%	2.0%	2.4%	0.2%	4.6%	2.7%	100.0%				
K大学	828	324	274	42	344	208	10354				
	8.0%	3.1%	2.6%	0.4%	3.3%	2.0%	100.0%				
合計	2251	709	725	73	1204	716	29196				
	7.7%	2.4%	2.5%	0.3%	4.1%	2.5%	100.0%				

企業規模

	0～9人	10～29人	30～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1000人以上	不明	合計
日本大学	9512	4967	2717	882	137	91	44	492	18842
	50.5%	26.4%	14.4%	4.7%	0.7%	0.5%	0.2%	2.6%	100.0%
K大学	3951	2241	2046	1100	262	211	185	358	10354
	38.2%	21.6%	19.8%	10.6%	2.5%	2.0%	1.8%	3.5%	100.0%
合計	13463	7208	4763	1982	399	302	229	850	29196
	46.1%	24.7%	16.3%	6.8%	1.4%	1.0%	0.8%	2.9%	100.0%

地域

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
日本大学	696	1696	10078	3065	775	834	524	1174	18842
	3.7%	9.0%	53.5%	16.3%	4.1%	4.4%	2.8%	6.2%	100.0%
K大学	201	485	5734	1592	941	580	288	533	10354
	1.9%	4.7%	55.4%	15.4%	9.1%	5.6%	2.8%	5.1%	100.0%
合計	897	2181	15812	4657	1716	1414	812	1707	29196
	3.1%	7.5%	54.2%	16.0%	5.9%	4.8%	2.8%	5.8%	100.0%

年代

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	不明	合計
K大学	15	285	1042	2007	3749	2321	460	33	1	441	10354
	0.1%	2.8%	10.1%	19.4%	36.2%	22.4%	4.4%	0.3%	0.0%	4.3%	100.0%
日本大学	6	261	1537	4105	7513	4180	589	37	1	613	18842
	0.0%	1.4%	8.2%	21.8%	39.9%	22.2%	3.1%	0.2%	0.0%	3.3%	100.0%
合計	21	546	2579	6112	11262	6501	1049	70	2	1054	29196
	0.1%	1.9%	8.8%	20.9%	38.6%	22.3%	3.6%	0.2%	0.0%	3.6%	100.0%

創業年

	1880年代	1890年代	1900年代	1910年代	1920年代	1930-44年	1945-1949年	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代
日本大学	1 0.0%	2 0.0%	4 0.0%	15 0.1%	33 0.2%	240 1.3%	764 4.1%	2822 15.0%	3168 16.8%	3348 17.8%	3177 16.9%
K大学	3 0.0%	11 0.1%	12 0.1%	71 0.7%	113 1.1%	442 4.3%	827 8.0%	1817 17.5%	1434 13.8%	1202 11.6%	1230 11.9%
合計	4 0.0%	13 0.0%	16 0.1%	86 0.3%	146 0.5%	682 2.3%	1591 5.4%	4639 15.9%	4602 15.8%	4550 15.6%	4407 15.1%
	1990年代	2000年代	2010年代	不明	合計						
日本大学	2496 13.2%	1861 9.9%	909 4.8%	2 0.0%	18842 100.0%						
K大学	1097 10.6%	1300 12.6%	793 7.7%	2 0.0%	10354 100.0%						
合計	3593 12.3%	3161 10.8%	1702 5.8%	4 0.0%	29196 100.0%						

評点

	29点以下	30-49点	50-64点	65-79点	80点以上	不明	合計
日本大学	36 0.2%	10778 57.2%	7641 40.6%	318 1.7%	0 0.0%	69 0.4%	18842 100.0%
K大学	16 0.2%	4371 42.2%	5381 52.0%	496 4.8%	1 0.0%	89 0.9%	10354 100.0%
合計	52 0.2%	15149 51.9%	13022 44.6%	814 2.8%	1 0.0%	158 0.5%	29196 100.0%

経営者アンケート基本集計表

回答者の属性 (性別)

	男性	女性	無回答	合計
回答数	357	4	5	366
	97.5%	1.1%	1.4%	100.0%

回答者の属性 (年齢)

	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	合計
回答数	7	40	100	128	77	8	6	366
	1.9%	10.9%	27.3%	35.0%	21.0%	2.2%	1.6%	100.0%

回答者の属性 (出身学部)

	法学部	文理学部	経済学部	商学部	芸術学部	国際関係学部	理工学部	生産工学部	工学部
回答数	53	25	39	36	7	3	70	60	38
	14.5%	6.8%	10.7%	9.8%	1.9%	0.8%	19.1%	16.4%	10.4%
		生物資源科学部	その他	無回答	合計				
回答数	28	4	3	366					
	7.7%	1.1%	0.8%	100.0%					

問1 a 業種

	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	不動産・物品賃貸業	専門・技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス業
回答数	90	82	3	17	18	78	6	31	6	4
	24.6%	22.4%	0.8%	4.6%	4.9%	21.3%	1.6%	8.5%	1.6%	1.1%
	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	その他	無回答	合計				
回答数	2	3	7	10	9	366				
	0.5%	0.8%	1.9%	2.7%	2.5%	100.0%				

問1 b 従業員数

	0~9人	10~29人	30~99人	100~299人	300~499人	500~999人	1000人以上	無回答	合計
回答数	18	144	123	52	11	3	7	8	366
	4.9%	39.3%	33.6%	14.2%	3.0%	0.8%	1.9%	2.2%	100.0%

問1 d 創業年

	1810	1840	1870	1880	1890	1900	1910	1920	1930	1945
回答数	1	1	3	3	3	9	7	16	22	31
	0.3%	0.3%	0.8%	0.8%	0.8%	2.5%	1.9%	4.4%	6.0%	8.5%
	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	無回答	合計	
回答数	48	58	62	33	27	27	6	9	366	
	13.1%	15.8%	16.9%	9.0%	7.4%	7.4%	1.6%	2.5%	100.0%	

問1 e 所在地

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	無回答	合計
回答数	12	46	175	62	17	14	10	25	5	366
	3.3%	12.6%	47.8%	16.9%	4.6%	3.8%	2.7%	6.8%	1.4%	100.0%

問2 創業者となった年齢

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
回答数	1	7	33	47	78	76	58	29	17	18
	0.3%	1.9%	9.0%	12.8%	21.3%	20.8%	15.8%	7.9%	4.6%	4.9%
	無回答	合計								
回答数	2	366								
	0.5%	100.0%								

問3 創業者との関係

	自分で起業	親族から継承	内部昇進	社外から招聘	その他	無回答	合計
回答数	80	239	31	9	6	1	366
	21.9%	65.3%	8.5%	2.5%	1.6%	0.3%	100.0%

問5 a. 経営戦略を策定する能力

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	213	134	12	7	366
	58.2%	36.6%	3.3%	1.9%	100.0%

問5 b. ビジネスモデルを構築する力

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	116	184	54	12	366
	31.7%	50.3%	14.8%	3.3%	100.0%

問5 c. 製品・サービスを開発する能力

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	115	160	80	11	366
	31.4%	43.7%	21.9%	3.0%	100.0%

問5 d. 製品・サービスを顧客に売り込む営業力

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	149	164	42	11	366
	40.7%	44.8%	11.5%	3.0%	100.0%

問5 e. 組織をまとめる統率力・リーダーシップ

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	236	118	8	4	366
	64.5%	32.2%	2.2%	1.1%	100.0%

問5 f. 新しいことに挑戦する積極性・チャレンジ精神

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	183	152	26	5	366
	50.0%	41.5%	7.1%	1.4%	100.0%

問5 g. 景気動向や経済政策など経済全般に関する知識

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	91	215	49	11	366
	24.9%	58.7%	13.4%	3.0%	100.0%

問5 h. 財務状況を把握する能力

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	189	157	17	3	366
	51.6%	42.9%	4.6%	0.8%	100.0%

問5 i. 資金を調達する能力

	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない	合計
回答数	130	138	42	56	366
	35.5%	37.7%	11.5%	15.3%	100.0%

問6 a. 経営戦略を策定する能力

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	40	125	157	30	9	5	366
	10.9%	34.2%	42.9%	8.2%	2.5%	1.4%	100.0%

問6 b. ビジネスモデルを構築する能力

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	18	103	169	60	11	5	366
	4.9%	28.1%	46.2%	16.4%	3.0%	1.4%	100.0%

問6 c. 製品・サービスを開発する能力

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	29	88	149	70	22	8	366
	7.9%	24.0%	40.7%	19.1%	6.0%	2.2%	100.0%

問6 d. 製品・サービスを顧客に売り込む営業力

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	47	133	130	38	12	6	366
	12.8%	36.3%	35.5%	10.4%	3.3%	1.6%	100.0%

問6 e. 組織をまとめる統率力・リーダーシップ

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	75	154	115	13	5	4	366
	20.5%	42.1%	31.4%	3.6%	1.4%	1.1%	100.0%

問6 f. 新しいことに挑戦する積極性・チャレンジ精神

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	99	137	91	28	6	5	366
	27.0%	37.4%	24.9%	7.7%	1.6%	1.4%	100.0%

問6 g. 景気動向や経済政策など経済全般に関する知識

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	31	120	172	34	4	5	366
	8.5%	32.8%	47.0%	9.3%	1.1%	1.4%	100.0%

問6 h. 財務状況を把握する能力

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	53	121	153	32	5	2	366
	14.5%	33.1%	41.8%	8.7%	1.4%	0.5%	100.0%

問6 i. 資金を調達する能力

	高い	やや高い	平均的	やや低い	低い	無回答	合計
回答数	48	103	165	26	12	12	366
	13.1%	28.1%	45.1%	7.1%	3.3%	3.3%	100.0%

問7 企業を經營する目的 (MA)

	高い所得を得たい	社会貢献をしたい	自分の裁量で仕事をしたい	性別や年齢に関係なく働きたい	自分の知識・技術・アイデアを生かしたい	仕事の経験や資格を生かしたい	その他	無回答	合計
回答数	162	250	149	59	144	77	53	8	366
	44.3%	68.3%	40.7%	16.1%	39.3%	21.0%	14.5%	2.2%	100.0%

問8 自社の經營状況 (過去5年間の傾向) 売上

	拡大傾向	横ばい	縮小傾向	無回答	合計
回答数	148	170	41	7	366
	40.4%	46.4%	11.2%	1.9%	100.0%

問8 自社の經營状況 (過去5年間の傾向) 収益

	黒字基調	収支均衡	赤字基調	無回答	合計
回答数	249	82	24	11	366
	68.0%	22.4%	6.6%	3.0%	100.0%

問9 自社の展望 (3～5年後の見通し) 業界の市場規模

	拡大する	横ばい	縮小する	わからない	無回答	合計
回答数	66	150	139	6	5	366
	18.0%	41.0%	38.0%	1.6%	1.4%	100.0%

問9 自社の展望（3～5年後の見通し） 自社の事業規模

	拡大する	現状維持	縮小する	わからない	無回答	合計
回答数	126	189	41	4	6	366
	34.4%	51.6%	11.2%	1.1%	1.6%	100.0%

問9 自社の展望（3～5年後の見通し） 自社の収益性

	改善する	現状維持	悪化する	わからない	無回答	合計
回答数	140	181	31	8	6	366
	38.3%	49.5%	8.5%	2.2%	1.6%	100.0%

問10 自社の強み (MA)

	商品・サービスの価格が安い	商品・サービスの品質が高い	技術力が高い	ブランド力がある	営業力がある	関連会社との提携関係が良好	他社との提携関係が良好	従業員の能力が高い	財務基礎がしっかりしている	海外市場を持っている
回答数	40	184	191	99	120	131	110	159	171	21
	10.9%	50.3%	52.2%	27.0%	32.8%	35.8%	30.1%	43.4%	46.7%	5.7%
回答数	27	7	無回答	5	366					
	7.4%	1.9%	1.4%	100.0%						

問11 a. 商品・サービスの品質の不足

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	12	108	171	69	6	366
	3.3%	29.5%	46.7%	18.9%	1.6%	100.0%

問11 b. 技術力の不足

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	19	125	136	80	6	366
	5.2%	34.2%	37.2%	21.9%	1.6%	100.0%

問11 c. 資金の不足

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	28	57	141	134	6	366
	7.7%	15.6%	38.5%	36.6%	1.6%	100.0%

問11 d. 人材の不足

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	171	127	45	17	6	366
	46.7%	34.7%	12.3%	4.6%	1.6%	100.0%

問11 e. 経済・産業に関する情報の不足

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	7	67	212	74	6	366
	1.9%	18.3%	57.9%	20.2%	1.6%	100.0%

問11 f. 消費者ニーズに関する情報の不足

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	8	89	189	74	6	366
	2.2%	24.3%	51.6%	20.2%	1.6%	100.0%

問11 g. 他社との価格競争

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	55	114	139	52	6	366
	15.0%	31.1%	38.0%	14.2%	1.6%	100.0%

問11 h. 許認可等に係る規制・制度

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
回答数	30	75	146	109	6	366
	8.2%	20.5%	39.9%	29.8%	1.6%	100.0%

問12 自社の経営に関して相談する社外の相手 (MA)

	金融機関	公認会計士	税理士	中小企業診断士	弁護士	その他の専門家・コンサルタント	取引先企業・同業者仲間	商工会議所・商工会等	大学・研究機関等	公的相談窓口
回答数	166	86	214	19	87	58	134	37	15	6
	45.4%	23.5%	58.5%	5.2%	23.8%	15.8%	36.6%	10.1%	4.1%	1.6%
	その他	社外に相談先はない	無回答	合計						
回答数	37	20	6	366						
	10.1%	5.5%	1.6%	100.0%						

問13 a. 経営戦略・事業計画策定に関する相談

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	合計
回答数	33	89	161	76	7	366
	9.0%	24.3%	44.0%	20.8%	1.9%	100.0%

問13 b. 製品・サービスに関する産学共同研究

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	合計
回答数	79	123	102	55	7	366
	21.6%	33.6%	27.9%	15.0%	1.9%	100.0%

問13 c. 市場調査・マーケティングに関する共同研究

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	合計
回答数	52	109	136	62	7	366
	14.2%	29.8%	37.2%	16.9%	1.9%	100.0%

問13 d. 税務・法務に関する相談

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	合計
回答数	22	80	165	92	7	366
	6.0%	21.9%	45.1%	25.1%	1.9%	100.0%

問13e. 後継者育成プログラムの提供

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	合計
回答数	42	124	135	58	7	366
	11.5%	33.9%	36.9%	15.8%	1.9%	100.0%

問13f. 日本大学出身の経営者のネットワークづくり

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	合計
回答数	98	145	77	39	7	366
	26.8%	39.6%	21.0%	10.7%	1.9%	100.0%

問13g. 在学生との交流の場の提供

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	合計
回答数	59	130	114	56	7	366
	16.1%	35.5%	31.1%	15.3%	1.9%	100.0%

問14 日本大学に対するご要望など

様々なご意見をいただいたので、本調査に直接関係ないものも多いが、できる限りそのまま紹介する。
なお、文体を統一するため、あるいは文意を明確にするため、趣旨が変わらないよう注意しながら表現を変えた部分がある。また、個人情報に割愛し、長文なものは一部省略した部分もある。

(この調査で)何が知りたいのかわからない。どんな企業でも運次第で変わる。2代目なので親に感謝している。
(卒業生に)中小企業の経営者が多いと思うので、在学中に一定の教育を。起業家を育てること。
学部、学科に関係なく、オール日大で卒業生との交流を強めてほしい。
規則、コンプライアンスをしっかり守ることができ、強い意志を持って仕事等に取り組むことができる人材の基礎を作っていただきたい。私の周りにも日大出身者はたくさんいて、60歳でも先輩には可愛がられる。日大はとっても良い大学だと思って今まで仕事をしきた。今後とも良い大学でいてほしい。
社会の変化に対応した柔軟な教育を目指してもらいたい。例えば、現在のIT技術者不足に対応した大学全体の取り組み、長く指摘されている学生のコミュニケーション不足への取り組み等。
優秀な卒業生の育成。
理系学部では産学共同研究は比較的進んでいるが、経済学部や商学部でも進めるべき。新しい流通経済学、マーケティング、健康に関連した消費動向などに関する(産学協同)研究を進めてほしい。
グローバルに活躍できる人材を育ててほしい。
学生でも企業でできる支援・助成金制度があるとチャレンジできる。
社会が変化する時代に求められるのは価値を創造する力、人間位しかできない何かを生み出す力を養うような大学になれば、日本の将来にとって意義あるものになるだろう。
先端技術(AI, IOT, Robotics...)の教育・研究を強化して、優秀な人材を輩出してほしい。
マーケティング関連の教育(の充実)を期待したい。
(自分は)自由に育ててもらい感謝している。
計画性より柔軟性の涵養。
金太郎飴のような人材を輩出して欲しくない。未来に希望を持ったまま卒業させてほしい。間違った理論を刷り込まないでほしい。
社会に役立つ学生の育成・指導。
卒業生が多いが、それぞれの立場で活躍できる優秀な人材を世に出してほしい。
エンジニアの教育・育成に力を入れてほしい。
世界に羽ばたく人材を育ててほしい。
今の若者には新しい発想、夢、ハートが無く、人間関係が持てず個人プレーをする人が多いように思う。学生には仕事に愛情を持って働いてほしい。海外の仕事が多くなるから英語は必須である。(このような能力を養う)大学での教育を期待する。
大学で学ぶ知識よりも、実社会での実験・実務が人を育てる。勉強は一生しなければならない。もちろん、一般的な常識や教養は学生時代に身につけておくべきである。
他大学卒よりも「日本大学出身者は人間的に素晴らしい」といわれる人材を多く輩出できれば、責任ある仕事を任せ、助けてもらえるだろう。取引先はじめ日大出身者に出会うと応援したくなり嬉しくもなるので、皆さま是非頑張ってください。期待しています。
枠にとらわれず、自分の考えを持てるような学生の育成。

<p>経営者とは、単に従業員を雇っているだけでなく、その家族全員の生活もその肩に乗っているということを見つめないと、本当の意味での経営者とは言えないということを若い時から教えるべきでは？あまりにも自分本位の若い経営者が多すぎる。</p>
<p>ロジカルシンキング、コミュニケーション能力等、ワークショップで教育が必要。</p>
<p>建設業界では、資格を有した技術者を必要としており、一定の実務経験年数だけでなく学問的な知識も必要とされているので、ぜひそうした人材を育成してほしい。</p>
<p>（日本大学は）質よりも量、知性よりスポーツや芸能という印象が強い。卒業生の力を結集させて知性を育む大学としての変革が必要。近年の大学に関する報道（アメフトや医学部入試の問題）を見てみると、古い慣習が原因と思われ、非常に残念である。特に理事長が大きな原因であり、早期交代が必要。卒業生でも立派な方々は多いが、その力を集結できていない印象がある。</p>
<p>実社会に通用する教育に積極的に取り組んでほしい。例えば、道徳、言葉遣い、上下関係、文章力など。</p>
<p>文系学部でもITの知識を必修にしてほしい。</p>
<p>企業家精神を持たせること、何のために企業をするのかを考えさせることが大事。</p>
<p>経営者になってから、楽しい、仕事が面白いと思ったことはほとんどなかったが、厳しいことを乗り越えられたのも「自分が日本大学の卒業生である」というプライドがあったからと考えている。学生には、大勢の日本大学出身者がいることを肝に命じてほしい。たとえ上からの命令、指示であったとしても、悪いことにはノーと判断できる人間に育ててほしい。私は日本大学が大好きです。</p>
<p>最近のマスコミの報道を見ると、大学のガバナンスの硬直化を感じる。柔軟かつ力強い学生を育てる意味でも、各学部のトップ、リーダーの寛容で堂々としたリーダーシップを期待する。頑張ってください。</p>
<p>アメフトのことで騒がれましたが、これからも誇りある母校であってほしい。当社へ学生が来てほしい。</p>
<p>学力（偏差値）がUPしてほしい。不祥事は起こさないようにしてほしい。</p>
<p>年始の駅伝（での活躍）</p>
<p>大学に期待することはない。</p>
<p>運動部が強いのは認めますが、学力の向上を図ってレベルを上げてほしい。</p>
<p>歴史とブランドがありながら理事長を含む経営陣のレベルが低い。</p>
<p>世間から尊敬される大学運営をしてほしい。田中理事長の1日も早い退任を求める。</p>
<p>現在は向かい風だが、いつか地域の卒業生は大きく花開くと大いに期待している。マスコミに踊らされることなく、信じる道を進んでほしい！！</p>
<p>運営や校友会等の組織の一新と各地での同窓生との交流の場の提供。</p>
<p>どこに行っても日大関係者が多いので、胸を張って日大出身と言えるような大学にしてほしい。</p>
<p>クリーンでクレバーなイメージにしてほしい。ただのマンモス校としか思われたいブランドを脱却すべき。</p>
<p>私学の雄としてのブランド化。</p>
<p>今後は質の高い、社会貢献度の高い大学になってほしい。スポーツでの貢献だけでなく、目に見える形での社会貢献を期待する。昨年来イメージダウンしているが、もう一度日本中が見直す大学にしてほしい。</p>
<p>企業にとって信用を失うことは致命的である。日大も本腰を入れて取り組んでほしい。</p>
<p>理事長と大学の体質を変えてほしい。</p>
<p>学問の府であるから、立派な建物に投資するより学力向上のために投資する必要がある。組織を解体し、新たな組織の形成が必要。</p>
<p>（理事会の）体制はこのままで良いのか、理事長はまだ続けるのか。</p>
<p>日本大学の今後に期待する。</p>

昨今のダークなイメージを払拭してほしい。
時代に合った大学運営のため、理事長、学長の任期制限、理事の定年制が必要。
悪評判となるような事件を起こさないでほしい。
「スポーツ日大」のイメージからの脱却。大学からの発信方法を工夫してほしい。
派閥への執着や審議に戻る大学運営からの決別、自由闊達で正義感溢れる優しい心を持った学生の育成を期待する。
日大のネットワークを生かしたフランチャイズ事業のようなつながりやブランド化。
卒業生、在校生が多いので、ネットワークをフルに活用すべき。
日本大学卒と胸を張って言えるニュースが無い。本部よもっとしっかりしろ！！
日大の強みを周知することが難しくなっている。スポーツ界での復活に期待する。
理事長をはじめ経営陣の刷新。暴力団まがいの報道に悲しくなった。夢のある教育方針、キャンパスの様子がメディアから流れてくることを期待する。
大学のイメージが悪化している。アメフトや駅伝は長い伝統の中で看板的な存在だったので非常に残念。一生懸命に取り組んできた学生が不憫でならない。学生のためにも卒業生のためにもイメージアップに努めてほしい。
もっと学生のことを考えてほしい。金儲け主義を改め、校友会を改革し、田中体制から脱却し、学生中心の大学に変わってほしい。スポーツ部は強さとスマートさを持ってほしい。学生が胸を張れる大学に変わってほしい。
現理事長は即刻やめるべき。卒業生として恥ずかしい。
田中理事長の解任を望む。
理事会の刷新。理事長の交代。理事長は学術的な人物であるべき。スポーツ出身は不可。
地元の校友会に参加しているが、年1回では十分な交流ができない。日大出身経営者のネットワークが必要。各県の校友会に教員も参加してはどうか。
大学理事会の反社会的勢力との交際は厳に慎むべき。最高学府として恥ずかしい限り。それを許してきたことがアメフト部の問題として表面化し、世間の悪評を受けているのではないか。
学問、スポーツともにもう少し元気になってほしい。メディアを賑わすような学者、豪腕な理事長に期待する。
日大のイメージが悪くなっている。改革を期待する。
ブランドイメージが崩れたままなので早期に改善が必要。社会貢献への投資、全学的PRが必要。ただし、安易にスポーツやTVゲームのような大衆向けのPRは不要。大学世界ランキングの上位を目指すための戦略を立て、実行してほしい。
日本大学ブランドの再構築。
理事長の退任。
近頃、評判が悪くなっていますが、日本大学を立て直し、風通しの良い大学になることを望みます。
地方にいてもあり、これまで日本大学の在学生、卒業生との交流がなかったことが非常に残念である。慶応大学は卒業生同士の絆が強いと感じる。
学長以下、教育従事者として自覚を持って言動してほしい。教育者も経営者と同様、学生や従業員の人生を左右する責任を負う仕事だからである。これは古橋広之進先生の教えである。
日本大学のイメージダウンが著しい。田中理事長の即刻退陣を望む。
スポーツ関連・全般的に不調であるのが残念。

日大の理念・伝統を伝承する仕組みづくり。新しい時代に適応するマーケティング、ブランドづくり。
大学のメディア対応は良くない。もっとオープンであってほしい。
アメフト対応の件があったので、田中理事長の載っている『絆』は見たくない。
不祥事に対する対応力が弱い。日大出身と言うだけで恥ずかしい。大学がモラルの高さを示し、学生にモラルを教育してほしい。経営感覚のない経営者は不要である。
アメフト問題などで大学に悪いイメージが付き大変残念。今後に期待したい。
アメフト事件に際し危機管理が全くダメ。マスコミ対応は最悪であった。
アメフトに関わる報道で日本大学のイメージダウンになったので、他のスポーツ部で同じことが起きないように指導すべき。理事長に関する報道にも反省して、(日本大学の)歴史を守る重要性を認識すべき。
アメフト問題の解決とイメージ改善戦略。
アメフト問題では大学側の対応に疑問を感じた。不祥事はゼロにできないが、対応の仕方でも世間の見方は変わる(企業経営も同じ)。今回の対応は学生を守るようには見えなかった。学生が肩身の狭い思いをすることがないようにしてほしい。
大学が大きすぎるからか、卒業後に愛好精神が湧いてこない。大学からの働きかけもなく冷たく感じる。アメフト問題への対応を見ても卒業生として情けなく思う。一朝一夕に変わらないともうが心ある人の努力に期待したい。
アメフト問題の責任の所在を明確に発信する。
アメフト問題では、田中英壽理事長以下、大学の対応に卒業生として大変恥ずかしい思いでいる。最高学府の大学らしく、社会に恥ずかしくない対応をしてほしい。今回の対応を見て日大への寄付を止めた。
アメフト部の問題によりイメージ悪化が心配。イメージアップに努めてほしい。
日大で学んだ「中庸」の精神が役立っているが、今の日本大学からは「中庸の精神」が感じられない。近年、(アメフト関連の)事件は、卒業生として情けない。学長をはじめとする大学執行部は、ワンマン経営を改め、もっと社会性を持ち、いろいろな人の声に耳を傾け、良い大学にしてほしい。教職員が自由に意見を言える学部、大学にしてほしい。
アメフトの危険タックル問題は許しがたい暴挙である。学長は雲隠れとは情けない。社会的にも人間的にも桁外れの非人道者である。卒業生たちは失望している。潔く謝罪し、大学の信頼回復に身を捧げるべき。
日大の信頼回復に全力で取り組んでほしい。時が解決するという考え方が見え隠れするのが悲しい。
アメフト事件への対応に不満を感じた。日大ブランドを保ってほしい。
アメフト事件以来、世間の日本大学への見方が低下している。教職員全員で努力してほしい。
アメフト部の事件への対応が残念でならない。
アメフト部の件は憤りを感じる。学長の件ではがっかりした。日大卒とは言えなかった。
山根明氏が日大櫻門ボクシング会常任顧問、スポーツ科学部客員教授となったのは残念だった。日大の名を落とさないようにお願いしたい。
アメフト問題では、卒業生として非常に恥をかいた。日本大学卒業と胸を張れるよう努力してほしい。
在校生、卒業生のためにも(アメフト問題に対して)誠意ある対応でイメージアップをお願いしたい。現在、出身大学に関する話題は避けている。
地方では人材不足を課題としている中小企業が多いと思うので、日本大学が(Uターン就職で)その救世主となって地域を元気づけてほしい。
地元出身の卒業生を採用したいので情報提供をしてほしい。
(日大出身の)新入社員を採用したい。

優秀な日大生を採用したい。日大出身経営者の企業を集めて学生に向けた説明会を実施してはどうか。
同郷の卒業生を紹介してほしい。
技術者を育てたいので、人材確保に繋がるような在学生との交流の場を作ってほしい。
大学内での卒業生が経営する会社の紹介、就職斡旋。
地方の企業と大学との産学連携、情報交換を強く希望。
就職に関する連携。インターンシップなどの積極的な受け入れ。
採用活動での在学生とのつながり。
学生に自社の斡旋、情報提供をしてほしい。
中小企業では幹部候補生の採用が大きな課題で、新卒採用が難しくなっているので、現役生との交流の場があると良い。
地方では技術者（土木・建築）の人材確保に苦慮している。自然豊かな土地で好きなスポーツや趣味などを楽しみながら仕事に従事できる田舎暮らしも選択肢の一つとして、ぜひ学生に勧めてほしい。PRの場を設けてほしい。
在学生と就職に関わる交流機会を設けてほしい。
（日大出身者の）交流ネットワークを作ってほしい。
地方の企業への人材供給。地方と大学とのネットワーク作り。
地方への就職指導、夕張市のような地方自治体財政の不振などの情報提供により、公務員志向を是正して（地方での民間企業への就職を促して）ほしい。
学生の紹介。
日本大学の学生を、理系・文系を問わず、雇用したい。
学生の就職先として、中小企業にも広く目を向けるように伝えてほしい。 また、当社のような企業と新しい製品新しい技術、新しい素材に関して共同研究ができるよう、門戸を広げてほしい。学生の成長にもつながるのではないかと思う。
有望な人材を紹介してほしい。
学生が企業に対してどのように考えているのかを知りたい。甘い考えで仕事に取り組む学生が多いように見える。就職して数年で転職する若者が多すぎる。これが良いか悪いかはわからないが、経営者側から見ると非常に不安。
校友同士の交流。
文科省や国策に迎合しない真実の研究をネット上で公開してほしい。例えば、武田邦彦さん、小出裕章さんなどのレポートは、人生にとって大切なことが述べられている。武田さんの経済学に関する知見は特筆すべきものがある。